

広島市東部地区連続立体交差事業に係る工事基本協定の締結について

令和2年6月19日
都市環境整備課

1 要旨

- (1) 広島市東部地区連続立体交差事業は、広島都市圏東部地域の交通の円滑化や市街地分断の解消などを目的とし、まちづくりの観点から進めてきた事業である。
- (2) 当事業については、昨年5月に都市計画変更を行い、同年10月の事業認可を経て、設計等を進めてきたところである。
- (3) この度、西日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR西日本」という。）との協議が整ったため、当事業のⅠ期区間（向洋駅周辺）の鉄道工事に係る協定について、6月18日に県・広島市及びJR西日本の三者で締結した。

2 協定の概要

- (1) 協定期間 令和2年6月～令和13年3月
- (2) 協定対象事業 鉄道工事及び設計（JR西日本施行）
用地補償、付替側道及び道路・水路の整備（県・広島市施行）
- (3) 協定額 約447億円（うち県負担 約249億円）

	総額	都市側負担※1		鉄道側負担※2
		県域 L=1.1 km	広島市域 L=0.9 km	
協定額	約447億円	約249億円	約169億円	約29億円
JR西日本施行	約400億円	約219億円	約155億円	約26億円
県・広島市施行	約48億円	約30億円	約14億円	約3億円

※端数処理により合計が一致しない場合がある。

※1 都市側負担は県費（県域）・市費（市域）のほか国庫補助金及び町負担金（県域）を含む

※2 国土交通省が定める「都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する細目要綱」において規定される負担割合（県域5%、広島市域9%）で算出

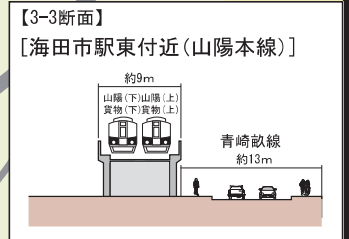
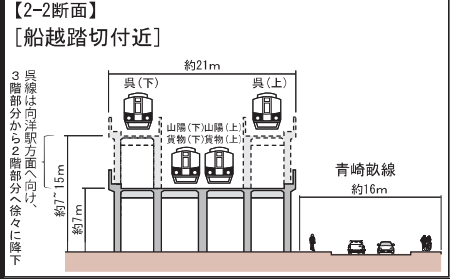
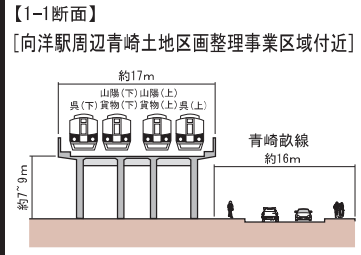
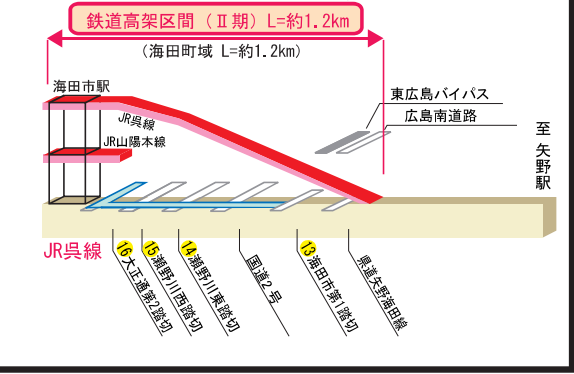
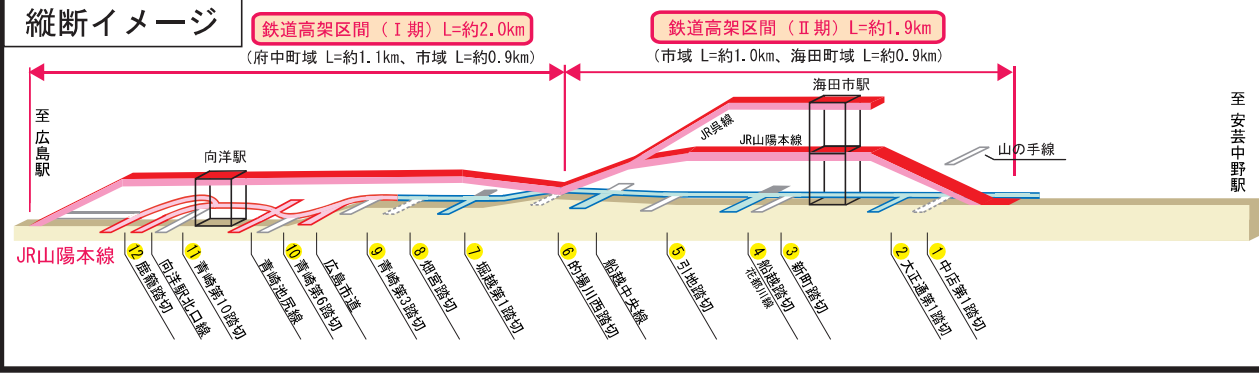
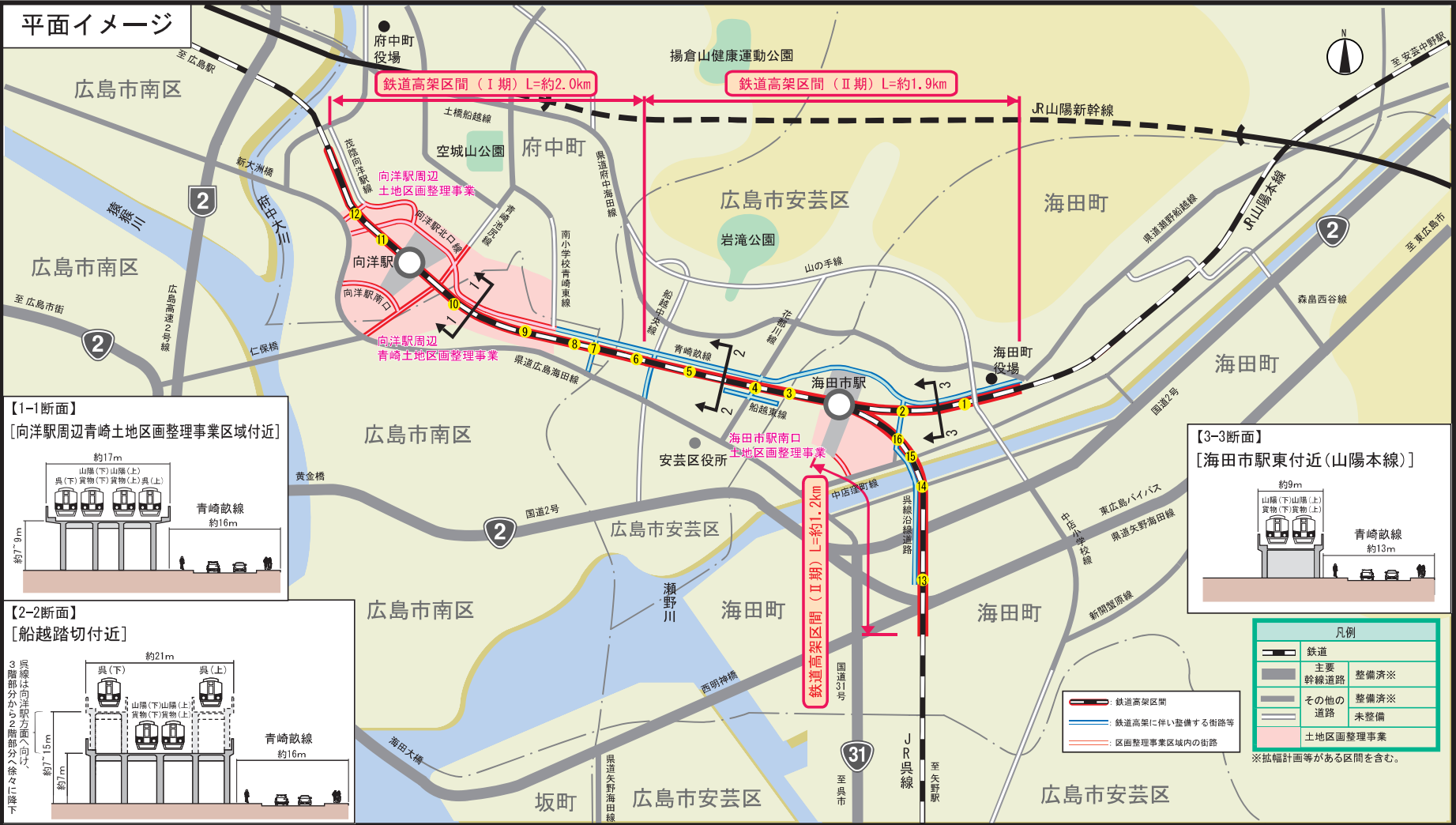
3 今後の進め方

引き続き、共同事業者である広島市と連携し、鉄道施設の詳細設計や支障物件の移転等を進め、地元住民の皆様のご理解とご協力を得ながら早期に工事着手する。

4 参考（事業イメージ図【裏面】）

- (1) Ⅱ期区間（海田駅周辺）を含めた全体事業の完了は令和20年度予定
- (2) 全体事業費は約915億円

広島市東部地区連続立体交差事業 イメージ図



凡例	
	鉄道
	主要幹線道路 整備済※
	その他の道路 未整備
	土地区画整理事業

※拡幅計画等がある区間を含む。